

## 特別展 名刀正宗と相模伝

2022年5月28日(土)～7月18日(月・祝)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社

日本刀の代名詞とも称される「正宗」。鎌倉時代、相模国の刀工である正宗は、明るく輝く地鉄に沸主体の躍動的な刃文を表す作風を完成し、後世に大きな影響を及ぼしました。室町時代の武家社会においては将軍へ献上するに相応しい刀工とされ、戦国時代には織田信長や豊臣秀吉が正宗の刀剣を愛好したことにより、正宗の評価はさらに高まり、江戸時代にはその価値が不動のものとなりました。

本展覧会では刀剣の受容の歴史を紐解きながら、尾張徳川家に伝来した正宗と相模伝の名刀をご紹介します。

- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 指定欄の「◎」は国宝、「◎」は重要文化財、「○」は重要美術品です。
- 所蔵欄に記載のない作品は全て徳川美術館の所蔵品です。
- 展示替欄の※は期間中、頁のめくり替を予定しています。

No. 指定	作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	展示替・所蔵
--------	--------	----------	-------	--------

## 【第7展示室】

## 序 尾張徳川家の刀剣を考える

1	駿府御分物御道具帳 御腰物之帳(一) 十一冊の内		江戸 元和4年(1618)	※
2	元和七酉年5 寛永十五寅年迄 御腰物請取払方帳		江戸 元和7年-寛永15年 (1621-1638)	※
3	慶安四卯5 延宝三卯迄 御腰物御脇指帳		江戸 慶安4年-延宝3年 (1651-1675)	※

## 第一章 献上に相応しい刀剣

4	短刀 無銘 天国		室町 15	
5	短刀 銘 宗近	徳川家康所持	平安 12	
6	小脇指 銘 久国	梁川(大久保)松平家伝来	鎌倉 13	
7	○ 剣 銘 国吉		鎌倉 13	
8	短刀 無銘 吉光 名物 無銘藤四郎	生駒正俊・徳川秀忠(2代将軍)・ 徳川義直(尾張家初代)所持	鎌倉 13	
9	◎ 太刀 銘 来国俊 正和二(四)年十月廿三日□□歳七十五	徳川家重(9代将軍)・徳川宗勝(尾張家8代)所持	鎌倉 正和4年(1315)	
10	○ 刀 無銘 正恒	徳川家康所持	鎌倉 13	
11	刀 銘 包平		鎌倉 13	
12	◎ 太刀(菊紋)「菊一文字」	徳川忠長(2代将軍秀忠3男)・ 徳川義直(尾張家初代)所持	鎌倉 13	

## 第二章 贈答の花形、正宗

13	◎ 短刀 銘 正宗 名物 不動正宗	豊臣秀次・徳川家康・前田利家・ 徳川義直(尾張家初代)ほか所持	鎌倉 14	
14	◎ 刀 金象嵌銘 正宗磨上 本阿弥(花押) 名物 池田正宗	伊達政宗・池田長吉・徳川秀忠(2代将軍)・ 徳川家光(3代将軍)・徳川義直(尾張家初代)所持	鎌倉 14	
15	◎ 短刀 無銘 正宗 名物 庖丁正宗	徳川家康所持	鎌倉 14	
16	◎ 短刀 無銘 正宗 名物 一庵正宗	一庵良慶・豊臣秀吉・徳川家光(3代将軍)・井伊直孝・ 徳川綱吉(5代将軍)・徳川吉通(尾張家4代)ほか所持	鎌倉 14	
17	小脇指 銘 正宗	徳川頼宣(紀伊家初代)・徳川義直(尾張家初代)所持	鎌倉 14	
18	○ 短刀 無銘 正宗	浅野光晟(広島浅野家2代)所持 徳川将軍家伝来	鎌倉 14	
19	刀 金象嵌銘 正宗 本阿(花押)	徳川家治(10代将軍)・徳川治休(尾張家9代宗睦嫡男)所持	鎌倉 14	
20	◎ 刀 無銘 正宗	徳川家継(7代将軍)・徳川継友(尾張家6代)所持	鎌倉 14	
21	短刀 銘 相州住正宗 嘉暦三年八月日 名物 大坂長銘正宗 初代越前康継再刃(大坂焼物)	豊臣秀頼・徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所持 尾張徳川家寄贈	鎌倉 嘉暦3年(1328)	
22	短刀 無銘 正宗 名物 若江十河正宗 初代越前康継再刃(大坂焼物)	十河十左衛門・豊臣秀吉・徳川家康・ 徳川義直(尾張家初代)所持	鎌倉 14	
23	刀 銘 正宗「鳥居正宗」	徳川家康所持	南北朝 14	
24	脇指 銘 正宗		室町 14-15	
25	小脇指 銘 正宗		南北朝-室町 14-15	

No. 指定	作品名・作者	所有者・伝来など	時代・世紀	展示替・所蔵
26	片鎌鎗 銘 正宗作		室町 15-16	
27	鎌 銘 正宗	徳川光友(尾張家2代)所持	江戸 17	
<b>コラム 正宗と本阿弥家</b>				
28	本阿弥光徳刀絵図(複製)		昭和10年(1935) 原本:桃山 文禄3年(1594)	
29	銘物鑑(享保名物帳)		明治3年(1870) 原本:江戸 18世紀	※
30	刀剣名物記		江戸 19	※
31	刀鍛冶系図		江戸 貞享元年(1684)	個人蔵
32	本朝鍛冶考 鎌田魚妙著 十二冊の内		江戸 寛政12年(1800) 初版:寛政8年(1796)	
<b>第三章 もう一人の天才、貞宗</b>				
33	◎ 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗	徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所持	南北朝 14	
34	短刀 無銘 貞宗 名物 奈良屋貞宗	奈良屋宗悦・豊臣秀吉・徳川秀忠(2代将軍)・ 徳川義直(尾張家初代)ほか所持	鎌倉-南北朝 14	
35	短刀 無銘 貞宗 名物 上野貞宗	本多正純・徳川家光(3代将軍)・ 徳川光友(尾張家2代)ほか所持	鎌倉-南北朝 14	
36	小脇指 無銘 相州貞宗	徳川綱條(水戸家3代)・徳川継友(尾張家6代)所持	鎌倉-南北朝 14	
37	小脇指 金象嵌銘 貞宗スリ上 本阿(花押)	徳川家綱(4代将軍)・徳川綱誠(尾張家3代)所持	鎌倉-南北朝 14	
38	短刀 朱銘 貞宗 本阿(花押)	徳川綱吉(5代将軍)・徳川綱誠(尾張家3代)所持	鎌倉-南北朝 14	
39	刀 無銘 貞宗	片桐且元・徳川家康所持	鎌倉-南北朝 14	
40	脇指 金象嵌銘 貞宗 本阿(花押)	徳川家治(10代将軍)・徳川宗睦(尾張家9代)所持	鎌倉-南北朝 14	
41	刀 無銘 貞宗	徳川慶勝(尾張家14代)所持	南北朝 14	
42	刀 無銘 高木貞宗	徳川継友(尾張家6代)所持	鎌倉 14	
43	小脇指 銘 江州高木住貞宗	徳川忠長(2代将軍秀忠3男)・ 徳川義直(尾張家初代)所持	南北朝 14	
44	脇指 銘 江州高木住人貞宗 嘉暦□年八月日	徳川宗睦(尾張家9代)所持	鎌倉 14	
<b>第四章 相模伝の黎明</b>				
45	◎ 太刀 銘 国綱	徳川吉宗(8代将軍)所持 徳川将軍家伝来	鎌倉 13	
46	○ 太刀 銘 国宗	徳川家斉(11代将軍)・徳川斉朝(尾張家10代)所持	鎌倉 13	
47	◎ 刀 無銘 助真	徳川慶勝(尾張家14代)所持	鎌倉 13	
48	短刀 銘 国光		鎌倉 14	
49	小脇指 無銘 行光	徳川家宣(6代将軍)・徳川五郎太(尾張家5代)所持	鎌倉 14	
<b>【第8展示室】</b>				
<b>第五章 正宗の弟子たち</b>				
50	小脇指 無銘 広光	徳川家斉(11代将軍)・徳川斉荘(尾張家12代)所持	鎌倉-南北朝 14	
51	小脇指 無銘 秋広	梁川(大久保)松平家伝来	室町 16	
52	小脇指 銘 正広	徳川家斉(11代将軍)・徳川斉温(尾張家11代)所持	室町 16	
53	脇指 無銘 広正		室町 16	
54	刀 銘 相州住広次 明応九年八月日	徳川治行(尾張家9代宗睦養子)所持	室町 明応9年(1500)	
55	太刀 銘 相州住綱広	徳川義礼(尾張家18代)所持	室町 16	
<b>【第9展示室】</b>				
<b>第六章 全国へ広まった相模伝</b>				
56	◎ 刀 無銘 郷義弘 名物 五月雨郷	黒田長政・徳川秀忠(2代将軍)・前田利常・ 徳川家光(3代将軍)・徳川光友(尾張家2代)ほか所持 徳川将軍家伝来	鎌倉 14	
57	小脇指 銘 則重	転陵院好君(尾張家9代宗睦正室)所持	鎌倉 14	
58	短刀 銘 長谷部国重	徳川光友(尾張家2代)所持 建中寺伝来	南北朝 14	
59	小脇指 銘 左 筑州住	転陵院好君(尾張家9代宗睦正室)所持	南北朝 14	
60	○ 太刀 銘 備州長船住兼光 暦応二二(四)年十一月日	徳川家慶(12代将軍)・徳川斉荘(尾張家12代)所持	南北朝 暦応4年(1341)	
61	脇指 無銘 金重	徳川義直(尾張家初代)所持	南北朝 14	